

日本共産党

高槻市会議員

宮本 雄一郎

つうしん

発行：日本共産党高槻市議員団 宮本雄一郎
連絡先：議員団控室電話 072-674-7230
事務所：高槻市氷室町1丁目25-6 TEL 072-692-2758
自宅：高槻市氷室町2丁目14-2 TEL 072-695-1900



今年度の保育所待機児、国基準でゼロ

潜在的待機児は増加傾向

今年の保育所申込者数は6774人で、昨年比で240人増えました。今年から1ヶ月に64時間(週3日以上で1日4時間以上)働いていれば保育認定が受けられるようになりました。

保育所に入所できたのは6143人でした。国の基準ではそれ以外の631人で、昨年比で114人増加しています。

保育所入所・待機児童の状況

	2017年	2016年	2015年
申込者数(A)	6774	6534	6227
入所者数(B)	6143	6017	5798
「潜在的待機児」(C)=(A)-(B)	631	517	429
認定保育所(市独自)	44	56	101
就労支援預かり保育	11	7	4
臨時保育室	48	20	4
(D) 育児休業取得	—	75	33
求職活動停止	96	0	3
特定保育所のみ希望	429	359	284
企業主導型保育施設	3	—	—
待機児童数(E)=(C)-(D)	0	0	0

※育児休業取得は今年から待機児にカウント。
※企業主導型は保育認定をした人のみカウント。

います。待機児解消へ引き続き努力が必要です。



公立幼稚園で3歳児保育の実施を

市は今年4月、公立幼稚園を認定こども園にすることなどを盛り込んだ「市立認定こども園配置計画」を策定しました。

公立幼稚園が認定こども園になれば、3歳児から入園できます。しかし、公立幼稚園は4歳児からしか入園できません。公立幼稚園でも、早く3歳児保育を実施するべきです。

保育士確保策

民間保育所の中には残業が多いなど労働環境が悪いケースがあります。それが原因で、

大量の保育士が退職した保育所もありました。労働基準法を遵守すること、サービス残業をさせないなどの取り組みが必要です。

また、国の処遇改善加算で、民間保育所の保育士の給与が確実に改善されているか、調査することも必要です。

移動図書館「きぼう号」が休止中 原因は運転手不足

高槻市の移動図書館「きぼう号」は民間業者に業務を委託してきました。4月からの委託業者の公募入札を行いました。

原因は近年、物流業界で問題となっている運転手不足です。

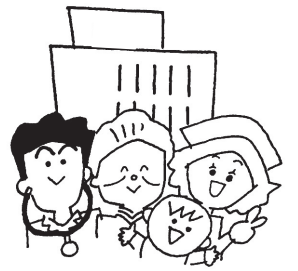
日本共産党は国会で「運転手の安全、健康、賃金、ここにメスを入れない限り人材不足は解消しない」とし、運転手の賃金を保障する「標準運賃制度」などを提案しています(昨年4月28日、参院国土交通委員会辰巳コータロー議員)。

市は「早期再開に向け、努力を行っているとところ」(市ホームページ)です。専門家や関係者で構成

される図書館協議会などの意見をふまえて今後の対応を考えることが必要です。

また、国の処遇改善加算で、民間保育所の保育士の給与が確実に改善されているか、調査することも必要です。

救命救急センターの移転候補地 大阪医大附属病院の敷地内に



耐震性が不足

三島救命救急センター（南芥川町）は、高槻・茨木・摂津・島本3市1町の救急医療の最後の砦であり、災害時の拠点となる病院です。しかし、国が定めた耐震基準を満たしていないことから、その対応について、とりわけ熊本地震で災害拠点病院が被災し、使用中止となったことを期に、検討が進められてきました。

検討の結果、現在の建物の耐震工事は振動が手術などに影響を与えることから、困難とされました。それをふまえて、移転候補地の選定が行なわれ、病状が安定した患者の転院先の確保や同センターと大阪医大附属病院が災害拠点病院に指定されていることから、同病院の敷地内としました。センターの理事会で決定しました。

患者受け入れを断る ケースが増加

同センターは近年、ICU（集中治療室）が満床になり、患者の受け入れを断るケースが増えていきます。2005年に患者を断った件数は143件でしたが昨年は、340件です。また、ここ数年「手術中」「担当科なし」の理由で断った事例が増えています。背景に医師不足があります。現在、常勤医師は9人で、6年前と比べて、6人減っています。

これらの課題を踏まえ、今後、必要な病床数や医大病院との密接な連携、災害医療体制、運営形態などの検討を進めます。検討は、医師や看護師などの医療関係者と一緒に行うことが必要です。

あくあびあ芥川の「再整備基本構想」を今年度策定

全国的にも珍しい運営形態の貴重な施設

あくあびあ芥川（高槻市立自然博物館）は芥川流域を中心至高槻の自然と生き物を紹介する施設として1994年にオープンしました。芥川倶楽部と大阪市自然史センター、二つのNPO法人が市の委託を受け、管理・運営しています。自然系のNPO法人二つが共同で管理・運営している全国的にも珍しい施設です。常設の展示に加え、市内の自然・



同館のはく製コーナー

プーるぴあ跡地も活用

動物物をテーマにした企画展、芥川に生息する様々な生き物を観察、調査するフィールドワーク、市民の環境学習の支援、大学生の博物館実習なども行う貴重な施設です。

開館から20年以上たっているため、老朽化している設備の更新を行います。

同時にプーるぴあ跡地も活用し、子ども達をはじめ、多くの人が高槻の自然を学習でき、感動をより体感できる空間とする構想を策定します。構想の策定にあたっては管理・運営する二つのNPO法人など、関係者の意見を十分取り入れることが必要です。

高槻市議会ホームページで議案や各会派・議員の賛否がご覧いただけます。

高槻市議会

検索

宮本雄一郎 ～市政相談会～

とき 毎月第3土曜日 午後2時～4時

ところ 氷室町1丁目25-6 ☎072-695-1900

この日以外でもお気軽にご相談ください

